

かがやく浜松市の未来へ

～持続可能な行財政運営を目指して～



本日の内容

1. 浜松市のプロフィール

- ・暮らしやすさ・・・・・・・・・・ 3
- ・出世の街はままつ・・・・・・・・ 4
- ・ものづくりのまち・・・・・・・・ 5
- ・音楽の都・・・・・・・・・・ 6
- ・豊富な特産品・・・・・・・・・・ 7

2. 浜松市の未来に向けて

- ・市民の皆様との約束に基づく市政運営・・・・ 9
- ・都市経営方針～浜松市未来ビジョン～・・・・ 10
- ・浜松市“やらまいか”人口ビジョン・・・・ 11
- ・浜松市“やらまいか”総合戦略・・・・ 12
- ・平成30年度当初予算＜一般会計＞・・・・ 13
- 【中長期的取組み】
- ・浜松市中期財政計画・・・・・・・・・・ 14
- ・職員数の削減（定員適正化計画）・・・・ 15
- ・戦略的な資産経営・・・・・・・・・・ 16

3. 決算から見る浜松市の財政状況

- ・普通会計決算の状況～歳入・歳出の概要～・・・・ 18
- ・普通会計決算の状況～小さな行政型～・・・・ 19
- ・普通会計決算の状況～健全化判断比率～・・・・ 20
- ・普通会計決算の状況～財政の健全性～・・・・ 21
- ・普通会計決算の状況～貸借対照表～・・・・ 22
- ・普通会計決算の状況～行政コスト計算書～・・・・ 23
- ・税収の確保・・・・・・・・・・ 24
- ・基金残高の状況・・・・・・・・・・ 25
- ・市債残高の状況・・・・・・・・・・ 26
- ・公営企業会計決算の状況・・・・・・・・・・ 27

4. 市債発行方針

- ・市債管理方針・・・・・・・・・・ 29
- ・減債基金の積立・・・・・・・・・・ 30
- ・浜松市の格付け・・・・・・・・・・ 31
- ・平成30年度市場公募債発行概要・・・・・・・・ 32

※表示単位未満を四捨五入していますので、
内訳と合計や、伸び率等の計算が一致
しないことがあります

1 浜松市のプロフィール

- 暮らしやすさ
- 出世の街はまつ
- ものづくりのまち
- 音楽の都
- 豊富な特産品



暮らしやすさ

本州最後の楽園!

人口：804,989人
(平成30年4月1日現在、住民登録による)

遥かなる太平洋へ連なる遠州灘。日本アルプスから注ぐ天竜川。
穏やかで美しい浜名湖。人口80万を有する大都市でありながら、
豊かな自然と水に恵まれた浜松は、ウォーター・マリンスポーツ&レジャーを
愛するたくさんの人に親しまれてきた。
さらに、首都圏や関西圏からのアクセスのよさや、
日照時間が全国トップクラスで、1年を通じて気候が温暖であることも
手伝い、「本州最後の楽園」と呼ぶにふさわしい、素晴らしい環境を誇っている。



幸福度ランキング 1 位 (政令指定都市20市中)

(全47都道府県幸福度ランキング2018年版(寺島実郎:監修、日本総合研究所:編))

健康寿命 1 位 (2016大都市別。2010、2013に続き連続 1 位、厚労省科学研究班)

◆四方を自然に囲まれた政令指定都市

- ・平成17年7月1日の12市町村による大合併、平成19年4月1日に政令指定都市に移行し、平成23年には100周年を迎えた。
- ・市域面積は1,558.06Km²で全国2番目。中心部の都会的な側面だけでなく、雄大な自然をたたえた中山間地域や、遠州灘、浜名湖、天竜川といった豊かな水域がある。

◆仕事とスポーツ・レジャーが近い街

- ・市街地で都会的な暮らしを楽しむ“アーバンライフ”
- ・山間部で自然とふれあいながらゆっくりと暮らす“スローライフ”
- ・浜名湖畔でマリンスポーツなどを楽しみながら暮らす“リゾートライフ”

⇒ **ウォーター・マリンスポーツの聖地** ～一流を育む浜名湖・遠州灘～

- ・市中心部から30分以内でビーチ・マリフィールドにアクセスすることが可能
- ・全国から仕事とマリンスポーツの両立を目指す一流のプレーヤーが集う。



天下統一の礎を築いた出世の街の歴史

若き日の徳川家康公が天下統一の礎を築き、水野忠邦など歴代城主の多くが幕府の要職へと昇りつめ、近代では世界的な研究者や技術者、音楽家や芸術家を輩出。数多くの偉人を生んだ「出世の街」浜松。浜松の人々が受け継いできた、何事にも諦めずにチャレンジし続ける「やらまいか精神」と伝統文化、そして豊かな自然を未来へとつなげ、浜松はこれからも、芸術、産業、農林水産、スポーツなど、各分野で成長し続ける創造都市をつくっていく。



◆守り継がれる歴史的遺産

平成29年に放映された大河ドラマ「おんな城主 直虎」でその名を轟かせた、井伊直虎ゆかりの地浜松。大河ドラマによって、龍潭寺、方広寺など直虎に関わりの深い名所はその名を馳せ、大河ドラマ館は来場者数78万人を記録。浜松は、歴史的価値の高いレガシー（遺産）を守り継いでいる。

浜松城

- ・天守閣は昭和33年に再建されたものだが、石垣は江戸時代の面影を残す歴史的価値の高いもの。
- ・「野面積み」と呼ばれる見た目には荒々しくも堅固なつくりで、古い石垣の特徴をよく残している。



龍潭寺

- ・徳川四天王とよばれ、徳川幕府の礎を築いた井伊直政の養母「井伊直虎」ゆかりのお寺
- ・二世住職の南溪和尚は直虎を女城主として立てるなど井伊氏再興の立役者
- ・庭園は国指定名勝



ものづくりのまち

やらまいか精神が培う進取の精神

◆オートバイ・自動車産業

ハイテク化を推進し、
持続可能な社会の実現へ



日本初の国産オートバイ

本田宗一郎のホンダにはじまり、スズキ、ヤマハ発動機などオートバイの世界的なブランドが浜松から誕生。自動車産業の発展へとつながっていった。近年加速する自動車産業（EV化、自動運転等）の技術革新に向け、日々研究を行っている。

◆楽器産業

日本一の楽器づくりのまち

製材業と機械産業、そして山葉虎楠と河合小市という二人の天才技術者が浜松の楽器産業を興す礎となった。現在もヤマハ、カワイ、ローランドの国内大手楽器メーカーが本社を構え、世界に向けてさまざまな楽器を送り出している。



日本初の国産ピアノ

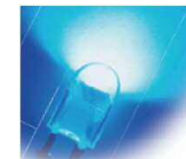
◆光・電子産業

世界をリードする最先端テクノロジー

1926年、高柳健次郎が世界初のブラウン管映像の実験に成功し、浜松の光・電子産業は幕を開けた。20世紀後半には浜松ホトニクスが開発した製品が2000年以降のノーベル物理学賞の受賞に幾度も貢献を果たすなど、世界の第一線を走る光電変換技術が浜松にある。

【青色LED】

世界初の青色LEDの開発に成功した
浜松市出身の天野浩名古屋大学特別教授は
その功績が認められ、ノーベル物理学賞を受賞



◆環境・エネルギー産業

太陽光発電導入量は全国1位

太陽光発電設備導入量において、全国市町村で1位
国内でもトップクラスの日照時間の長さ、晴天率の高さという
好条件を活かし、官民一体となって太陽光発電に取り組む。

浜松からの世界初・日本初



世界初の電子式テレビ実験成功



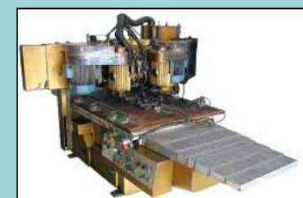
世界初の胃カメラ



日本初の軽自動車



日本初の国産旅客機



日本初の木工機械



日本初の国産アルミホイール

「音楽のまち」から世界を代表する「音楽の都」へ ユネスコ創造都市ネットワークの音楽分野にアジアで初めて加盟（平成26年12月）

◆世界的な音楽事業の開催

第10回 浜松国際ピアノコンクール

H30.11.8-11.25 会場:アクトシティ浜松

- ・1991年に浜松市制80周年を記念して、楽器と音楽のまちとしての歴史と伝統を誇るにふさわしい国際的文化事業としてスタートし、以後3年毎に開催
- ・コンクールで最高位をおさめた者には、コンクール開催翌年から、全国・海外ツアーを開催し、国内外の著名な音楽祭からの参加招待やオーケストラとの協演等がある。



第156回直木賞

蜜蜂と遠雷（恩田陸）
浜松国際ピアノ
コンクールを
題材に書かれ
た小説



◆充実した音楽環境

アクトシティ浜松大ホール

- ・2,336の客席を持つ、日本初の四面舞台
- ・本格的なオペラ、バレエ、演劇など舞台芸術に対応



◆市民が楽しむ音楽イベント

プロムナードコンサート

- ・JR浜松駅前北口広場「キタラ」などで4月から10月にかけて開催される、地元学校の吹奏楽部やアマチュア楽団などによる市民コンサート



豊富な特産品

豊かな自然環境から生み出される浜松ブランド

◆浜松が誇る代表的な海の幸

浜名湖うなぎ

- ・地下水、稚魚の採捕、飼料の供給、温暖な気候と養殖の好条件が整う浜名湖は、全国的なうなぎの産地



遠州灘天然トラフグ



遠州灘シラス

浜名湖アサリ

◆地元に根付いた B 級グルメ

浜松餃子

- ・宇都宮市と並び餃子の名産地として知られる。過去には何度も購入額で日本一に。
- ・具にキャベツや白菜などの野菜をふんだんに使用し、付け合せとして茹でたもやしを添えるのが1つの特徴



◆浜松が誇る代表的な大地の幸

三ヶ日みかん

- ・浜松の代表的な果物。奥浜名湖の三ヶ日、細江、引佐地区を中心に栽培が盛んで、特に三ヶ日みかんは、糖度が高くコクのある味わいのみかんとして全国に知られている。



ガーベラ

- ・日照時間の長さとお水はけの良い土壌により、日本一の生産量



浜松茶・天竜茶・春野の茶

◆広大な山々からの恵み

天竜美林

- ・浜松市の森林面積は全域の約66%を占める。その中でも北遠の山々は天竜美林と呼ばれ、奈良県の吉野、三重県の尾鷲に並び日本三大人工美林に数えられる。



2 浜松市の未来に向けて

- 市民の皆様との約束に基づく市政運営
- 都市経営方針～浜松市未来ビジョン～
- 浜松市“やらまいか”人口ビジョン
- 浜松市“やらまいか”総合戦略
- 平成30年度当初予算＜一般会計＞
- 【中長期的取組み】
浜松市中期財政計画 など



市民の皆様との約束に基づく市政運営

第1期(H19-H22)

①『こども第一主義』

- ・子育て世代を全力で応援
- ・地域一体の教育で浜松の未来を創造

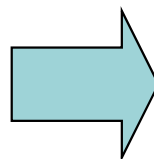
②『くらし満足度向上』

- ・住みやすさナンバーワンの「ひとつの浜松」
- ・安全安心の医療と介護

③『行財政改革の推進』

- ・スピードのある行財政改革で必要な財源を捻出
- ・市長みずからが先頭に立つ

第3回
マニフェスト大賞
首長グランプリ受賞



第2期(H23-H26)

①『やります！人財(ひと)づくり』

- ・創造性あふれる市民が集い主体的に行動
- ・浜松の未来の担い手となる人材の育成

②『やります！産業(もの)づくり』

- ・イノベーションに果敢に挑戦
- ・新たな技術や人材、産業の創出を支援

③『やります！文化(こと)づくり』

- ・多様な文化芸術を基盤とした人材の交流
- ・市民が主体となって文化を創造・発展

第3期(H27-H30)

①『やります！次世代にツナグ』

- ・魅力ある「創造都市・浜松」をつくる
- ・安全で安心なまちづくり
- ・豊かな自然環境を後世に残す
- ・足腰の強い財政基盤づくり

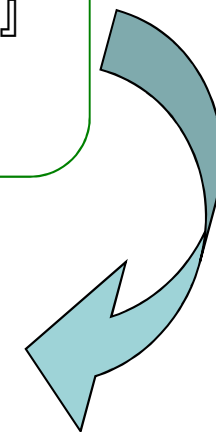
②『やります！世界とツナグ』

- ・音楽を機軸とした創造的な文化や産業の振興
- ・戦略的なシティプロモーションの展開
- ・農作物をはじめとした特産品の海外への積極的な販路拡大

③『やります！人をツナグ』

- ・企業等の人材が学校教育等に参画する仕組みづくり
- ・地域の見守り体制の拡充
- ・都市部と中山間地域の市内間交流
- ・地域活動の活発化や担い手となる人材の育成

平成27年4月～
市長3期目



都市経営方針～浜松市未来ビジョン～

浜松市未来ビジョン(30年後)

<都市の将来像>

市民協働で築く 『未来へかがやく創造都市・浜松』

【創造都市】

技術も文化も国際色豊かなクリエイティブシティ

【市民協働】

小さな歯車が重なって大きな‘こと’を動かす

【ひとづくり】

新しさを生む伝統を未来へつなぐ

浜松市未来ビジョン第1次推進プラン(10年後)

■ 都市経営の考え方

- ・ 市民協働で高める地域力
- ・ 未来まで続く持続可能なまち
- ・ 未知の感動を生み出す創造都市
- ・ 想定外にも対応できる自立・自律したまち
- ・ 世界とツナグ・地域とツナグ

■ 分野別計画

- ・ 産業経済
- ・ 子育て・教育
- ・ 安全・安心・快適
- ・ 環境・エネルギー
- ・ 健康・福祉
- ・ 文化・生涯学習
- ・ 地方自治・都市経営



毎年策定

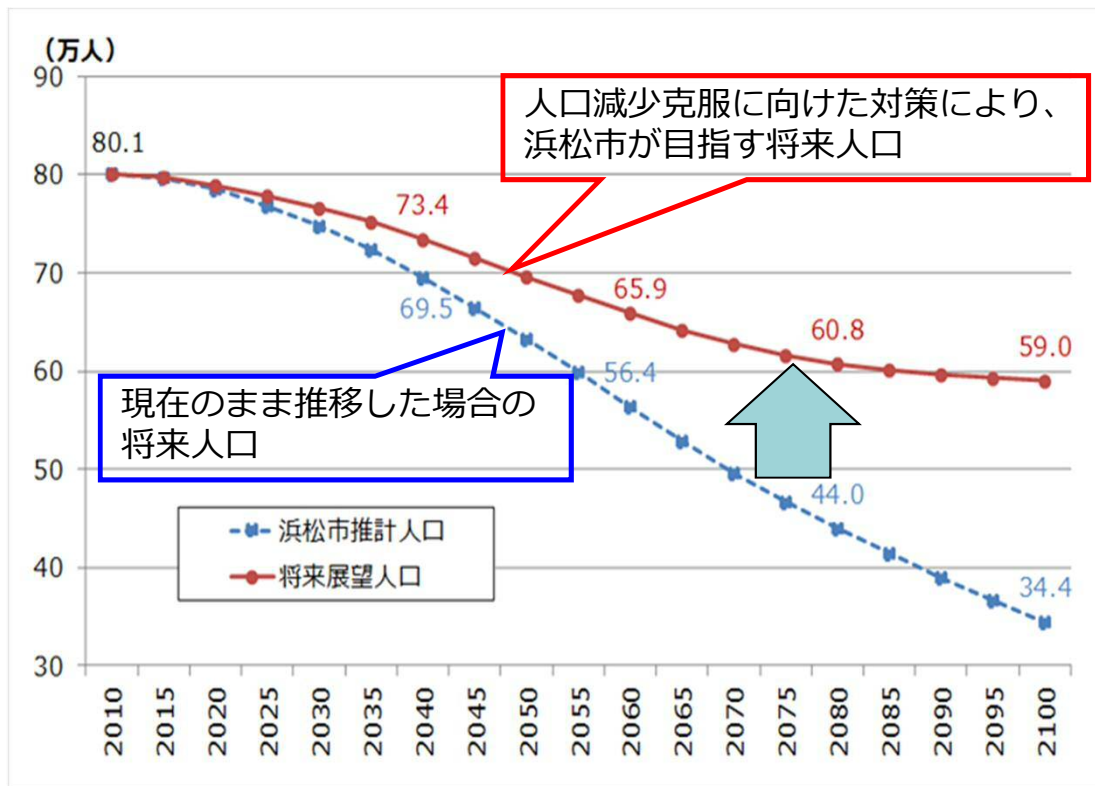
浜松市戦略計画

浜松市“やらまいか”人口ビジョン

<目標>

合計特殊出生率：2025年までに1.84、2035年までに2.07

社会移動：2020年までに東京圏との社会移動を均衡させる



○浜松市が目指す将来の人口(将来人口展望)

2040年:73.4万人

2060年:65.9万人



○現在の出生率、稼働率などが
このまま続いた場合

2040年:69.5万人

2060年:56.4万人

<人口減少を抑え、長期的な人口構成の最適化に向けた方針>

- ・若者、子育て世代の生活基盤の安定
- ・希望出生数をかなえる環境整備
- ・だれもが引き寄せられる都市の魅力を創出

浜松市“やらまいか”総合戦略

人口減少を抑え、長期的な人口構成の最適化を図るための 3つの基本目標

I 若者がチャレンジできるまち

- 満足のいく雇用機会に恵まれていると思う人の割合 26.0% → 30.0%
- 市内総生産額 2.97兆円 → 3.3兆円以上

II 子育て世代を全力で応援するまち

- 合計特殊出生率 1.47 → 1.84
- 子どもを生み育てやすい環境が整っていると思う人の割合 23.4% → 50.0%

III 持続可能で創造性あふれるまち

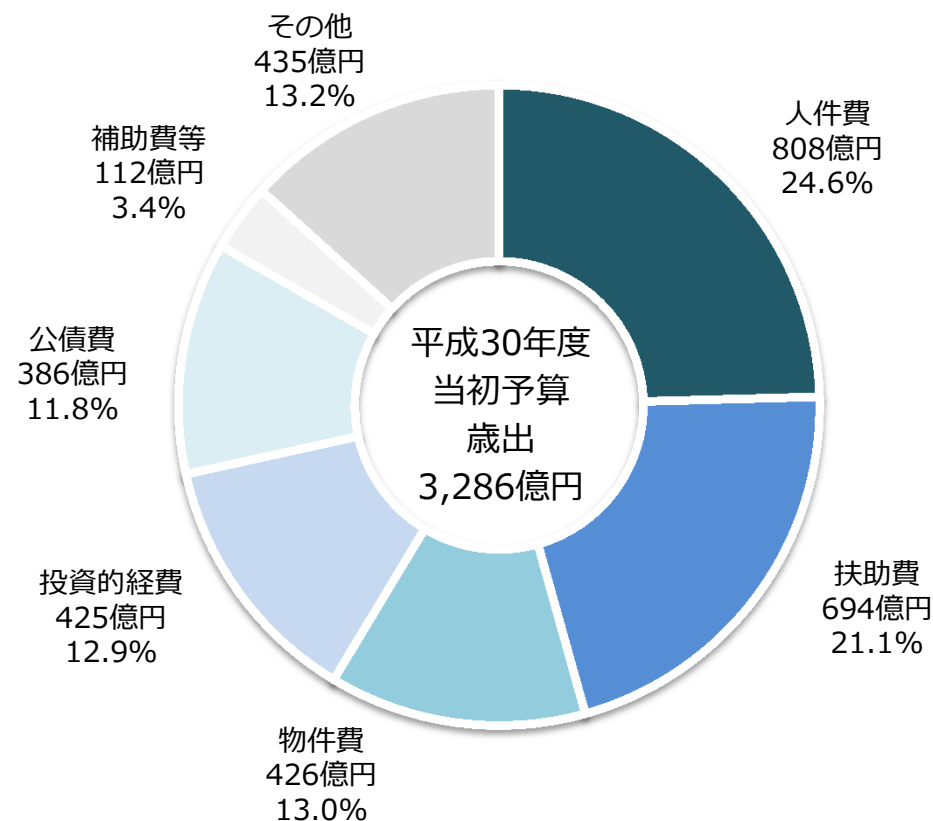
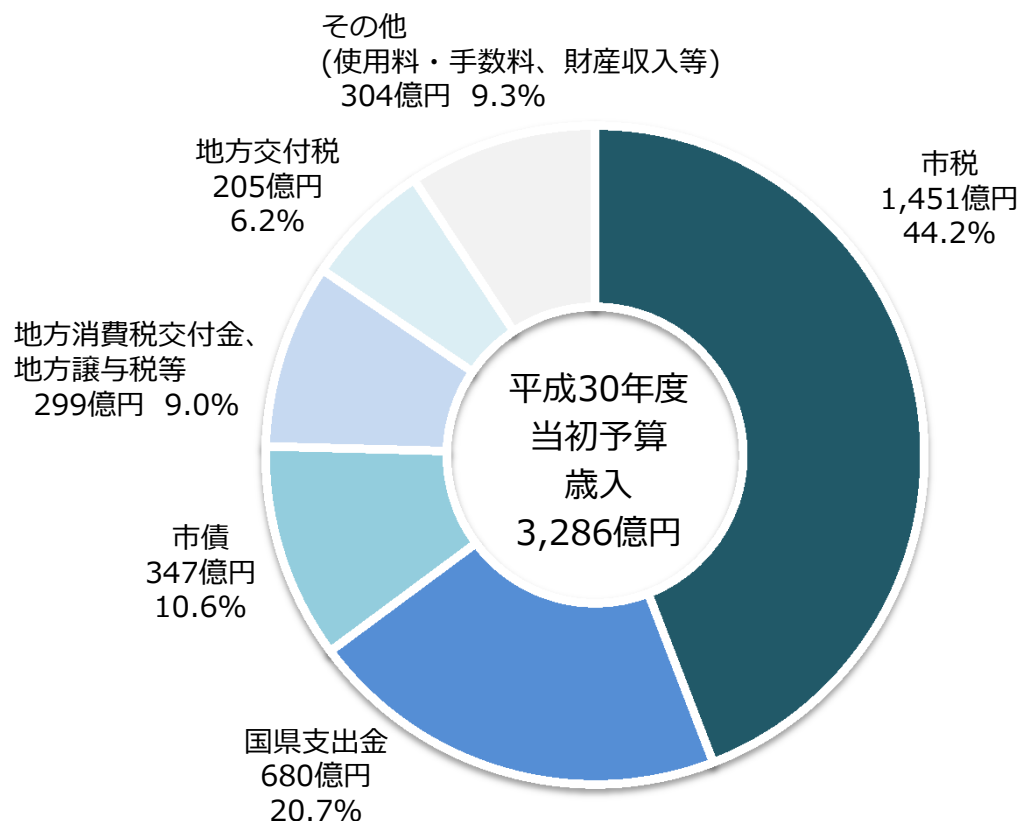
- 住んでいる地域が住みやすいと思う人の割合 58.9% → 65.0%
- 健康寿命 男72.98歳、女75.94歳 → 男73.98歳、女76.94歳

☆浜松市の地方創生のキーワード“やらまいか精神”

平成30年度当初予算<一般会計>

一般会計 3,286億円(前年度比22億円の増)

政令指定都市移行後、最大の予算規模



都市の将来像である「市民協働で築く『未来へかがやく創造都市・浜松』」、未来の理想の姿「1ダースの未来」の実現に向け、総合戦略に掲げた諸施策を着実に推進

人口減少下における中長期的な財政運営指針

■ 計画期間 平成27年度～36年度（10年間）

■ 目標値

①一人あたり市債残高

平成36年度末までに55万円／人以下とする

②補足目標

ア 実質公債費比率（フロー指標）

類似政令指定都市（※）平均を下回る

イ 将来負担比率（ストック指標）

実質0%近傍を維持

※類似都市とは、平成13年度以降に合併を行い政令指定都市に移行した8都市を指す

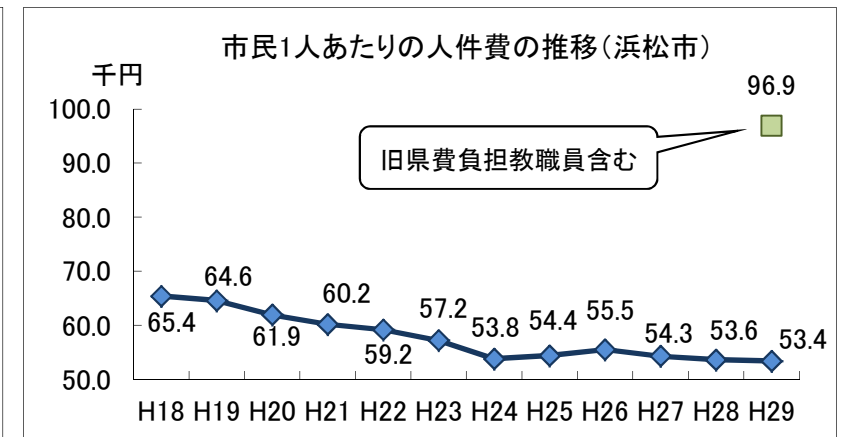
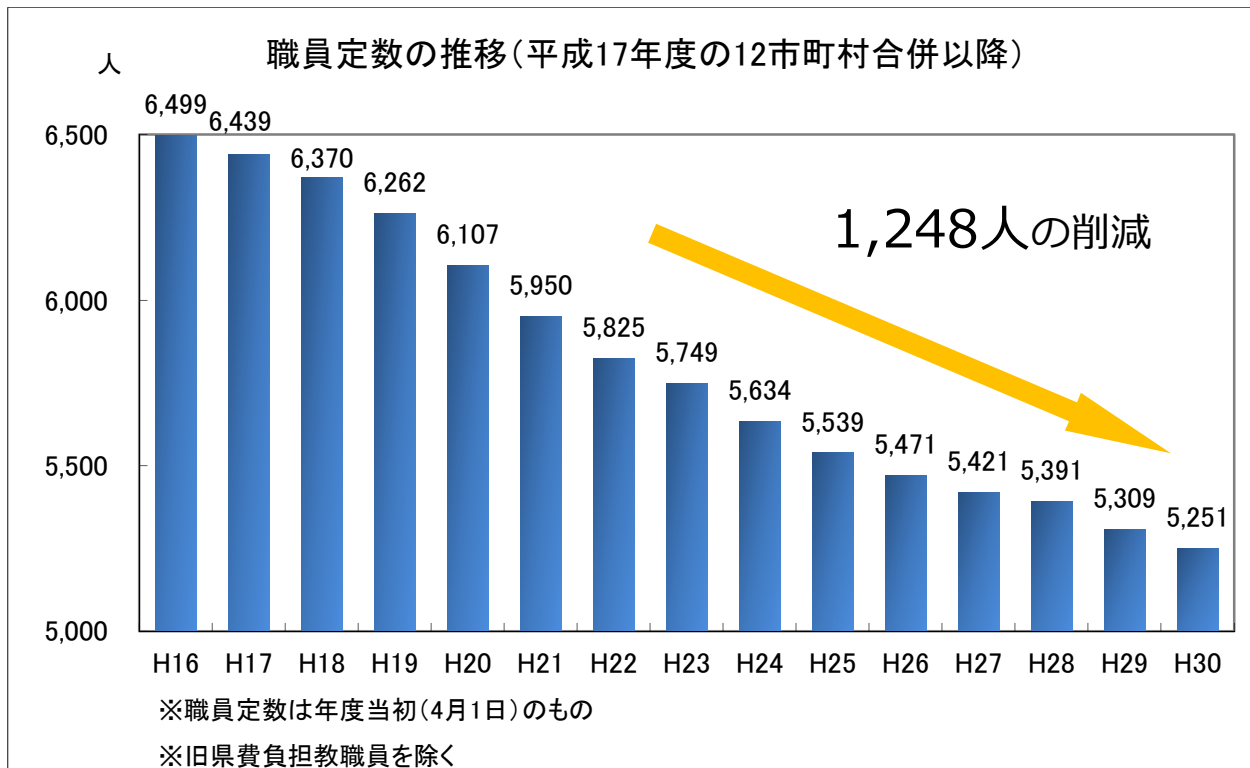
⇒さいたま市、静岡市、堺市、浜松市、新潟市、岡山市、相模原市、熊本市

○中長期的な財政運営指針となる中期財政計画の必要性

- ・人口減少下においてこそ、中長期的な視点からの財政の健全化を意識して財政運営を行うことが重要
- ・30年先の将来を念頭に総合的な施策を定めた浜松市総合計画基本計画と同じ10年間を対象期間として中期財政計画を策定し、一人あたり市債残高の縮減を主たる目標とする

職員数の削減（定員適正化計画）

- 計画期間 平成28年4月1日～平成32年4月1日
- 目標 330人の削減
事務事業の見直しなどにより408人削減
新たな行政需要などに対応するため78人増員
- ・ 2期(H18～H22、H23～H27)にわたる定員適正化計画の推進により、平成27年4月までに職員定数を1,078人削減
- ・ 新たな定員適正化計画を策定し、更なる削減を継続中（平成30年4月現在1,248人の削減）



市民1人あたりの人件費（H28）

（単位：千円）

	人件費／人口	順位
札幌市	47.4	1
福岡市	49.7	2
横浜市	53.3	3
浜松市	53.6	4
政令市平均	62.7	

平成28年度普通会計決算より
住民基本台帳の平成28年度末人口による

- ・ 市民一人あたり人件費を10年間で約18%カット
- ・ 政令指定都市の中で4番目に低い

戦略的な資産経営

資産経営推進方針(平成21年度～)

- ・「財産管理」から脱し、コスト意識・経営感覚を伴った戦略的な「資産経営」にいち早く移行
- ・第6回日本ファシリティマネジメント大賞最優秀賞受賞(H23.2月)

■施設の削減状況

439施設(約22万㎡)を削減(平成21～27年度)

- ⇒ 年間維持管理経費 △約5億円
- ⇒ 50年間の更新・改修経費 △約1,100億円

公共施設等総合管理計画(平成28年3月)

従来からのハコモノ資産の取り組みに加え、道路・橋りょうなどインフラ資産も含め包括的な資産経営

■基本的事項

資産の見直しや活用、運営管理、処分などに関するプロセス全般を資産経営と位置付け、長期的かつ着実に推進するための羅針盤として策定

■計画期間 平成27年度～36年度(10年間)

■資産経営の基本的理念

「知る・変える・活かす」で支える都市経営

知る……資産の状況をしっかり「知る」
変える……従来の考え方にとらわれず「変える」
活かす……創意工夫により資産を最大限「活かす」

■6つの基本方針

- ・公共施設に関するムリ・ムダ・ムラの是正
- ・安全・安心な公共施設の提供
- ・公共施設の最大限の有効活用
- ・民間活力の積極的な活用
- ・まちづくりとの連携及び近隣市町等との連携
- ・実効ある進捗管理

■マネジメントの手法

【ハコモノ資産】

所管課とアセットマネジメント推進課を主とする関係課が「施設カルテ」を共有し、中長期的な総量縮減・民間活力の活用などの視点を持ちつつPDCAサイクルの実行

【インフラ資産】

RBM(リスクベース・メンテナンス)を踏まえた長寿命化計画などを基本に、メンテナンスサイクル(点検⇒診断⇒措置⇒記録)を実行することで、実態に即した予防保全を推進

3 決算から見る浜松市の財政状況

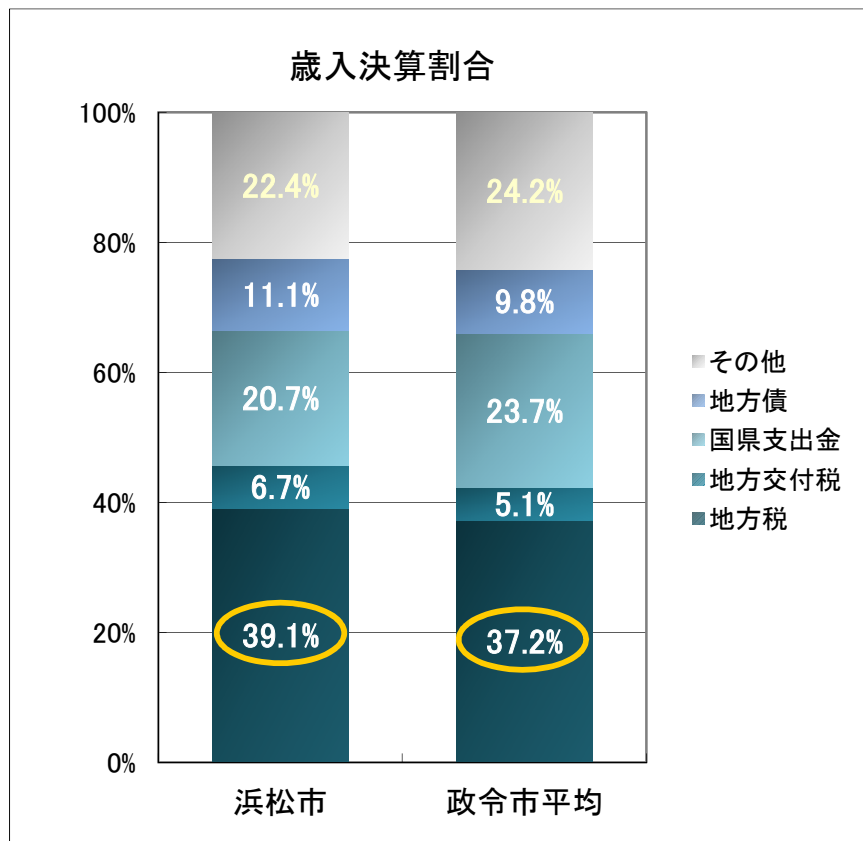
- 普通会計決算の状況
- 税収の確保
- 基金残高の状況
- 市債残高の状況
- 公営企業会計決算の状況



普通会計決算の状況～歳入・歳出の概要～

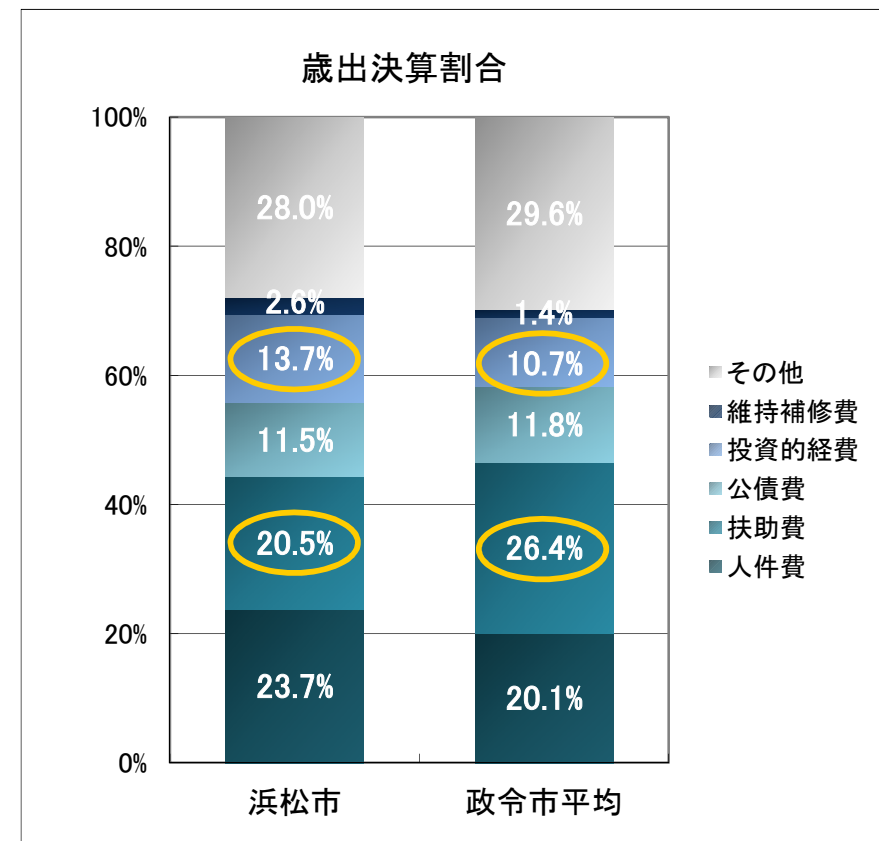
＜29年度歳入決算額＞ 3,371億円

- 高い地方税割合(対政令市平均+1.9%)



＜29年度歳出決算額＞ 3,287億円

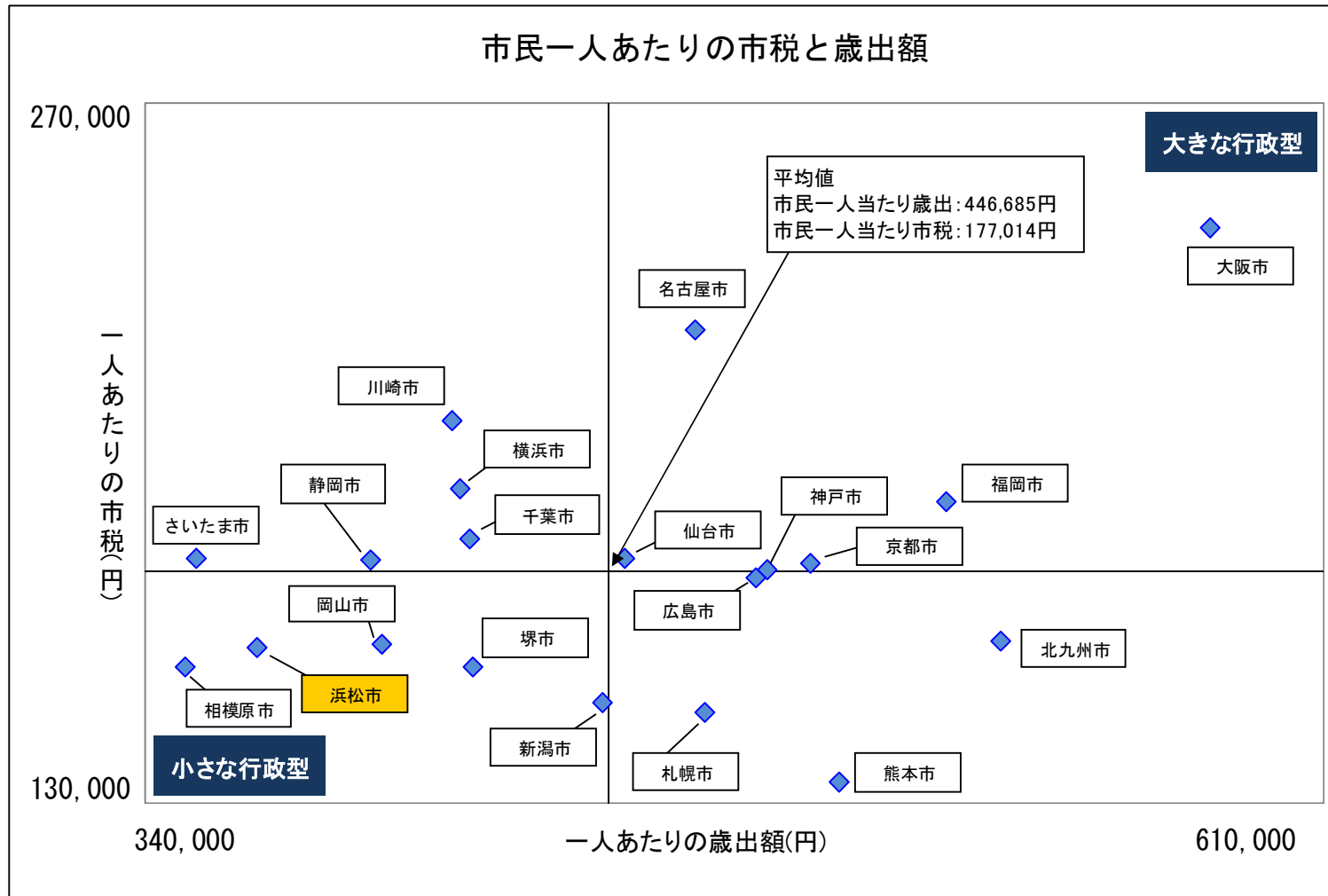
- 低い扶助費割合(対政令市平均△5.9%)
- 高い投資的経費割合(対政令市平均+3.0%)



※平成29年度決算 政令市平均は平成29年度決算速報値の単純平均

普通会計決算の状況～小さな行政型～

たゆまぬ行財政改革の結果、低コスト体質を実現



- ・ 市民一人あたりの市税は政令指定都市平均を下回る
- ・ 市民一人あたりの歳出額は政令指定都市の中で3番目に少ない

【市民1人あたり歳出額】

	市名	千円
1	相模原市	349
2	さいたま市	352
3	浜松市	366
4	静岡市	392
5	岡山市	394
6	川崎市	411
7	横浜市	412
8	千葉市	415
9	堺市	415
10	新潟市	445
11	仙台市	450
12	名古屋市	466
13	札幌市	468
13	広島市	480
15	神戸市	483
16	京都市	493
17	熊本市	499
18	福岡市	524
19	北九州市	536
20	大阪市	584
	単純平均	447

平成28年度普通会計決算より
人口は年度末人口
表中の太線は単純平均分岐線

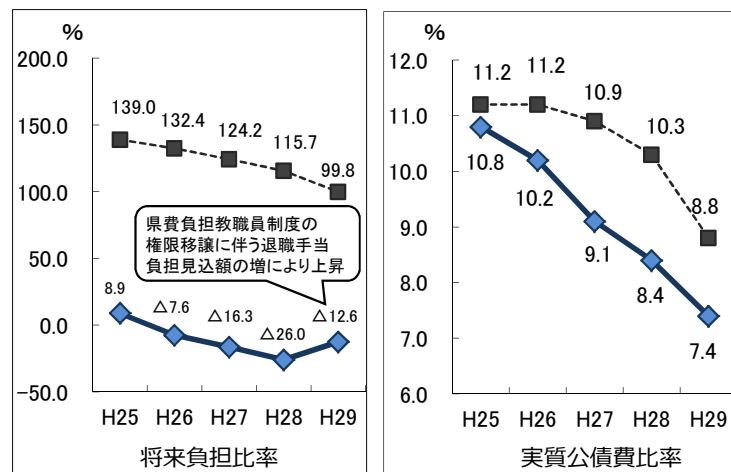
普通会計決算の状況～健全化判断比率～

財政状況の健全性は、政令指定都市の中でトップ水準

(単位: %)

項 目	29年度 A	28年度 B	増減 A-B	早期 健全化 基準
実質赤字比率	黒字	黒字	-	11.25
連結実質赤字比率	黒字	黒字	-	16.25
実質公債費比率	7.4	8.4	△ 1.0	25.0
将来負担比率	- (△12.6)	- (△26.0)	- 13.4	400.0

※将来負担比率は、充当可能財源等が将来負担額を上回るため「-」と表示
参考に（ ）内に上回る額の比率をマイナス（△）で表示

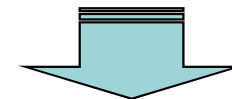


※H29政令市平均はH29決算速報値の単純平均

順位	将来負担比率	実質公債費比率
1	浜松市 -	相模原市 2.9
2	さいたま市 5.4	札幌市 3.7
3	岡山市 13.5	さいたま市 5.0
4	堺市 17.5	堺市 5.7
5	相模原市 36.5	川崎市 7.2
6	静岡市 46.4	神戸市 7.4
7	札幌市 59.0	静岡市 7.9
8	神戸市 80.0	大阪市 7.9
9	大阪市 95.2	岡山市 8.1
10	仙台市 108.5	浜松市 8.4
11	川崎市 118.3	熊本市 9.3
12	熊本市 124.0	仙台市 9.3
13	名古屋市 138.8	新潟市 11.1
14	新潟市 139.6	名古屋市 11.8
15	福岡市 152.7	福岡市 12.2
16	横浜市 160.7	北九州市 13.7
17	千葉市 186.2	広島市 14.7
18	北九州市 187.9	京都市 15.2
19	広島市 222.8	横浜市 16.5
20	京都市 226.2	千葉市 17.3
	単純平均 106.0	単純平均 9.8

※28年度決算、表中の太線は単純平均分岐線

- ・早期健全化基準より大幅に低い健全な財政運営を維持
- ・将来負担比率は政令指定都市で最も良い値
- ・実質公債費比率はほぼ平均
⇒償還期間を前倒しした市債借入原則、縁故債10年償還（借換なし）市場公募債10年償還（借換1回）
※減債基金の積立は実質公債費比率の基準よりも前倒して積立（1/30 ⇒ 1/20以上）



実質公債費比率は高くなるが、
将来負担比率が良好に

普通会計決算の状況～財政の健全性～

財政状況の健全性は、政令指定都市の中でトップ水準

※表中の太線は単純平均分岐線

順位	生活保護率	ラスパイレス指数	経常収支比率
1	浜松市 0.94	大阪市 94.2	岡山市 88.1
2	静岡市 1.28	広島市 98.8	熊本市 92.4
3	新潟市 1.47	新潟市 99.0	浜松市 93.0
4	さいたま市 1.59	浜松市 99.6	静岡市 93.8
5	仙台市 1.64	名古屋市 99.7	福岡市 94.3
6	岡山市 1.89	堺市 99.7	新潟市 94.4
7	横浜市 1.90	札幌市 99.8	札幌市 94.7
8	相模原市 1.94	千葉市 99.8	さいたま市 95.7
9	千葉市 2.11	相模原市 99.9	千葉市 96.1
10	名古屋市 2.13	横浜市 100.6	堺市 97.4
11	川崎市 2.15	熊本市 100.9	神戸市 97.9
12	広島市 2.21	岡山市 100.9	広島市 98.6
13	熊本市 2.24	神戸市 101.0	横浜市 98.9
14	北九州市 2.49	川崎市 101.2	仙台市 99.4
15	福岡市 2.83	さいたま市 102.2	北九州市 99.6
16	京都市 3.08	京都市 102.6	名古屋市 99.8
17	堺市 3.09	福岡市 102.7	大阪市 100.1
18	神戸市 3.11	仙台市 102.9	川崎市 100.4
19	札幌市 3.77	北九州市 103.0	京都市 100.5
20	大阪市 5.35	静岡市 103.6	相模原市 102.5
	単純平均 2.36	単純平均 100.6	単純平均 96.9

※出典：政府統計の総合窓口
(平成28年度被保護者調査)

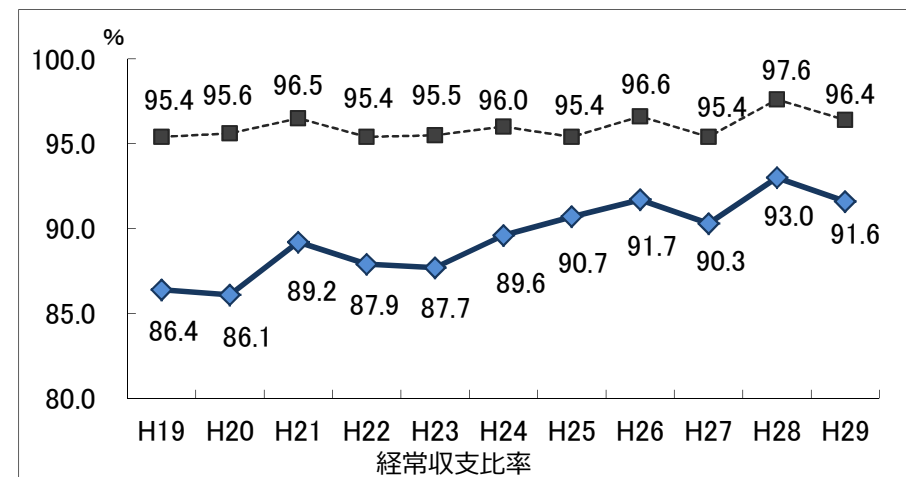
※生活保護率(人口百分)

※国家公務員を100とした場合の
地方公務員の給与水準

※出典：平成29年地方公務員
給与実態調査結果(総務省)

※28年度決算

- ・生活保護率は政令指定都市第1位
- ・ラスパイレス指数、経常収支比率は上位
- ・経常収支比率は、県費負担教職員の権限移譲に伴う税源移譲や地方税の増などにより、前年度より1.4ポイント改善



● 浜松市 ■ 政令市平均

※H29政令市平均はH29決算速報値の単純平均

普通会計決算の状況～貸借対照表～

将来世代負担率が低い持続可能な財政運営

普通会計

平成30年3月31日現在

資産 1兆4,006億円		負債 3,582億円	
将来の世代に引継ぐ社会資本		将来の世代の負担となる債務	
1 固定資産	1兆3,736億円	1 固定負債	3,119億円
(1) 有形固定資産	1兆2,885億円	(1) 地方債	2,426億円
①事業用資産	6,462億円	(2) 長期未払金	- 億円
②インフラ資産	6,345億円	(3) 引当金	689億円
③物品	78億円	(4) その他	4億円
(2) 無形固定資産	22億円	2 流動負債	463億円
(3) 投資その他の資産	829億円	(1) 1年以内償還地方債	393億円
		(2) 未払金	2億円
		(3) 引当金	56億円
		(4) その他	12億円
債務返済の財源等		純資産 1兆424億円	
2 流動資産	270億円	これまでの世代の負担	
(1) 現金預金	94億円		
(2) 基金	162億円		
(3) その他	14億円		

市民一人あたりの貸借対照表

資産 174万円	負債 44.5万円 (うち、市債35.0万円)
	純資産 129.5万円

- ・ 資産に対する純資産：負債の割合 = 7 : 3
- ・ 類似指定都市と比較（平成28年度）すると・・・
- ・ 市民一人あたりの負債額は少ない
- ・ 純資産比率は高く、将来世代負担率は低い

①市民一人あたり資産額

項目	29年度	28年度	28類似都市平均
人口 (人)	804,989	806,407	-
資産 (億円)	14,006	14,112	-
市民一人あたりの資産 (万円)	174	175	177

②市民一人あたり負債額

項目	29年度	28年度	28類似都市平均
人口 (人)	804,989	806,407	-
負債 (億円)	3,582	3,223	-
市民一人あたりの負債 (万円)	45	40	57

少ない！

③純資産比率

項目	29年度	28年度	28類似都市平均
資産 A(億円)	14,006	14,112	-
純資産 B(億円)	10,424	10,889	-
純資産比率 B/A	74.4%	77.2%	68.0%

高い！

④社会資本等形成の世代間負担比率

項目	29年度	28年度	28類似都市平均
固定資産総額 A(億円)	13,736	13,835	-
地方債残高＋未払金 B(億円)	1,450	1,542	-
将来世代負担比率 B/A	10.6%	11.1%	24.3%

低い！

普通会計決算の状況～行政コスト計算書～

財政運営の見直しによる効率的な行政サービスの提供

類似指定都市と比較（平成28年度）すると・・・

- ・ 市民一人あたりの行政コストは低い
⇒職員数の削減や補助金の見直しなどによりコストを抑え、効率的な行政サービスを提供

- ・ 適正な受益者負担割合

⇒使用料は、利用者間の公平性の観点などから3年に1度の全庁的な見直し

⇒手数料は、実績に基づくコスト計算から毎年度見直し

普通会計 自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日

費用 3,302億円		収益 144億円	
1 経常費用	3,254億円	1 経常収益	138億円
(1) 業務費用	2,087億円	(1) 使用料及び手数料	54億円
①人件費	1,158億円	(2) その他	84億円
②物件費等	889億円	2 臨時利益	6億円
③その他の業務費用	40億円	純行政コスト 3,158億円	
(2) 移転費用	1,167億円	市税などの一般財源や 国県補助金などを充当	
①補助金等	370億円		
②社会保障給付	622億円		
③他会計への繰出金	159億円		
④その他	16億円		
2 臨時損失	48億円		

市民一人あたりの行政コスト計算書

費用 41.0万円		収益 1.8万円
		純行政コスト 39.2万円

①市民一人あたり行政コスト

項目	29年度	28年度	28類似都市平均
人口 (人)	804,989	806,407	-
純行政コスト (億円)	3,158	2,448	-
市民一人あたりの行政コスト (万円)	39	30	34

低い！

②受益者負担割合

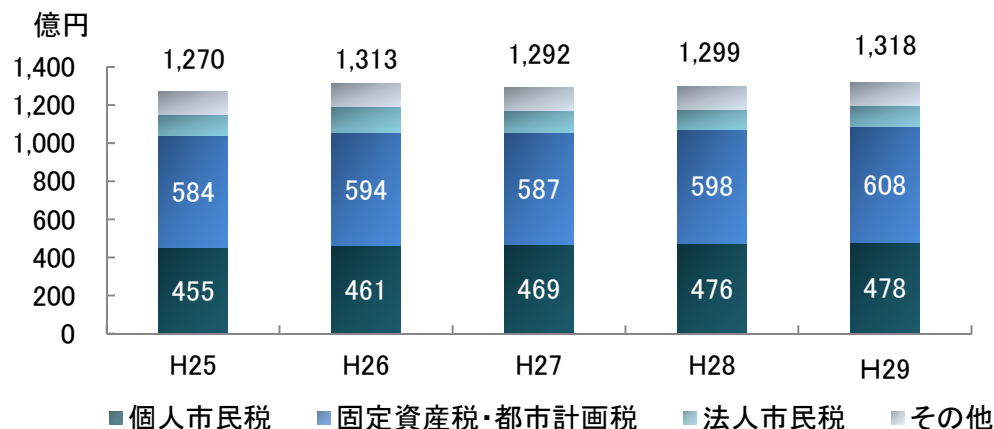
項目	29年度	28年度	28類似都市平均
経常費用 A(億円)	3,254	2,573	-
経常収益 B(億円)	138	142	-
受益者負担の割合 B/A	4.2%	5.5%	4.7%

※県費負担教職員の権限移譲に伴う、給与費や退職手当等引当金繰入額などにより、経常費用及び純行政コストが前年度に比べ増えている。

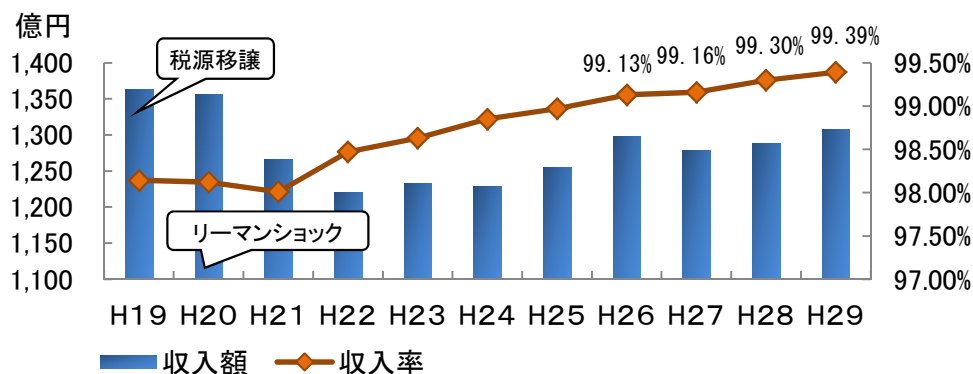
税収の確保

収入率の向上と滞納額の削減

市税収入の構造



市税(現年度分)収入率



安定した税収構造

- ・市税収入は、家屋の新築増による固定資産税や企業収益の改善による法人市民税の増などより1,318億円（前年度比19億円増）
- ・個人市民税、固定資産税の割合が8割を超える

「第4次市税滞納削減アクションプラン」 （平成28年度策定）

- ・口座振替の促進やコンビニ納付の拡大
- ・特別徴収事業所の指定の徹底と適正な管理
- ・現年分滞納整理の早期着手の強化 など

平成29年度現年課税分収入率：99.39%

※目標値：99.24%を達成、過去最高

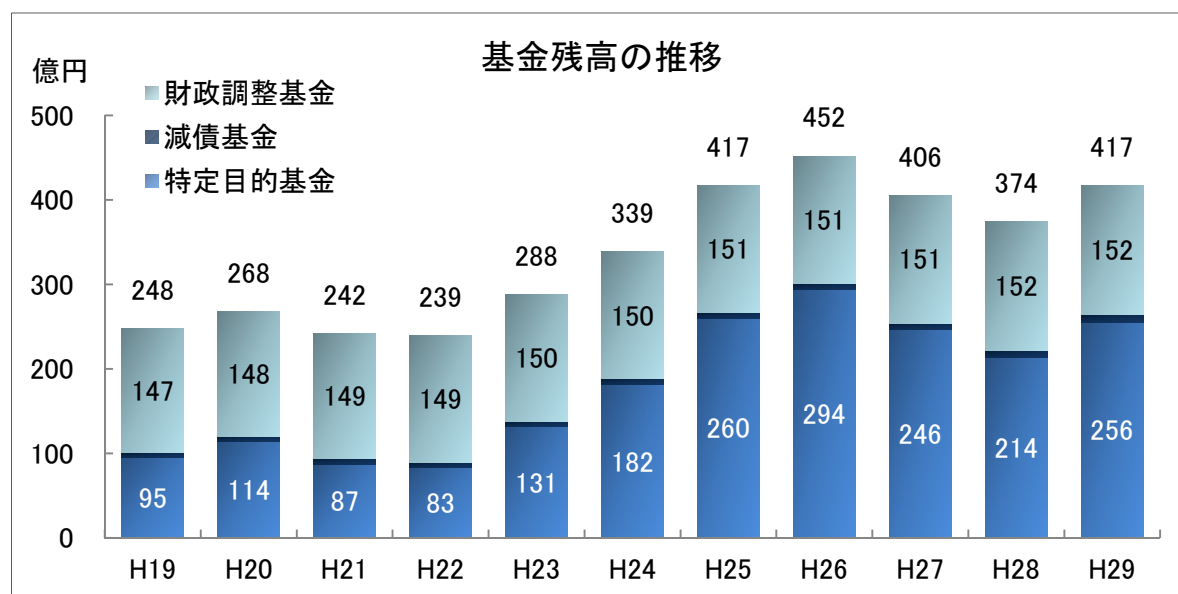
（具体的な取組みによる実績）

- ・コンビニ対応による納付機会の拡大
コンビニ納付件数 524,345件

（前年度比114,054件増） **24**

基金残高の状況

基金残高 417億円（前年度比43億円増）



- 一般廃棄物処理施設整備事業基金残高は、新清掃工場建設に対する財源確保のための積立てにより前年度比25億円の増

- 津波対策事業基金残高は、防潮堤かさ上げ（13m→15m）に対する財源確保のための積立てにより前年比12億円の増

- 市民一人あたりの基金残高は5.2万円となり、前年度比5千円の増

(単位: 億円)

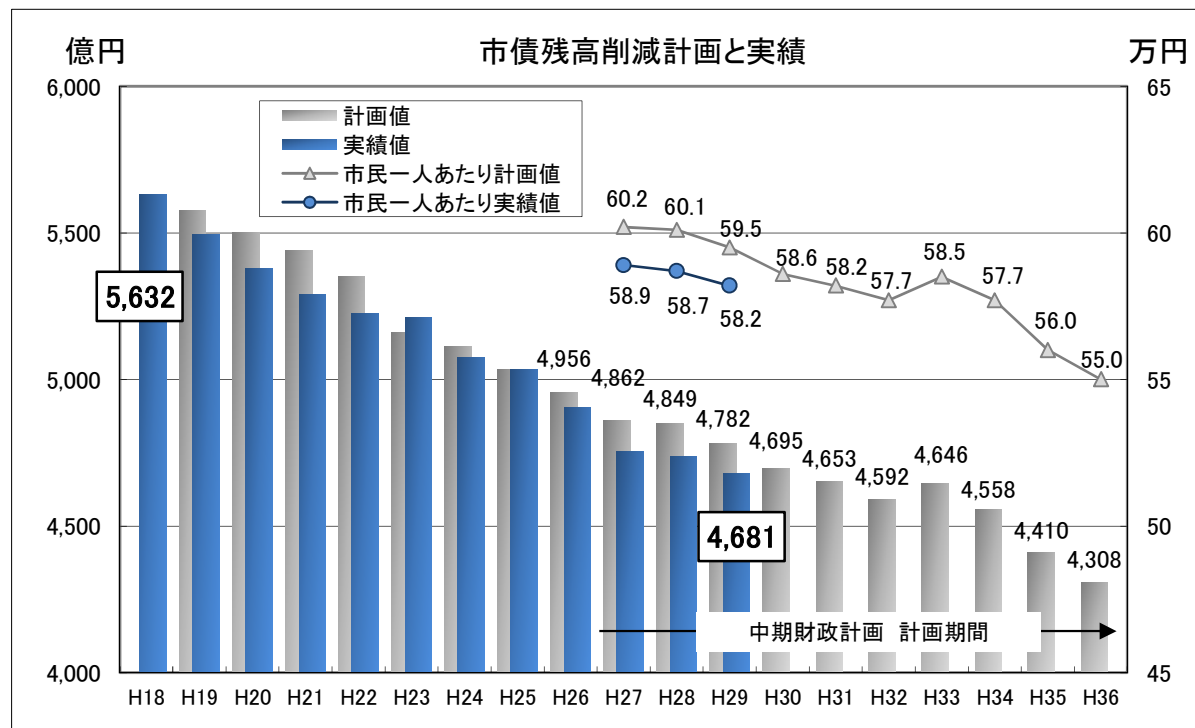
区分	H28	H29		
	年度末残高 A	積立金 B	取崩 C	年度末残高 A+B-C
1 財政調整基金	152	0	-	152
2 減債基金(満期一括償還積立金除く)	9	1	-	10
3 特定目的基金	214	96	55	256
資産管理基金	80	17	15	82
一般廃棄物処理施設整備事業基金	21	30	5	46
津波対策事業基金	24	18	7	36
その他	89	32	28	92
合計	374	97	55	417

※減債基金の平成29年度末の残高は235億円だが、満期一括償還積立金分を除いた場合の残高は10億円

※類似都市平均は3.7万円、政令指定都市平均は3.1万円

市債残高の状況

市債残高 4,681億円（前年度比56億円の減）



- ・平成29年度末市債残高は4,681億円。
市民一人あたりの市債残高は58.2万円
- ・中期財政計画の平成29年度計画値
59.5万円以下を達成

【一人あたり市債残高】

順位	市 名	残高(万円)
1	相模原市	50.1
2	さいたま市	53.2
3	浜松市	58.2
政令指定都市平均		98.0

※29年度末の全会計（速報値より）

※人口はH30年3月末日時点の住民登録者数

- ・市債残高は平成18年度から平成29年度までの11年間で951億円(16.9%)の減
- ・市民一人あたりの市債残高は政令指定都市の中で3番目に少ない
- ・中期財政計画（H27年度～H36年度）の目標は、一人あたり市債残高を平成36年度末までに55.0万円/人以下

公営企業会計決算の状況

全事業にて、純利益を確保。下水道事業では、西遠処理区において、平成30年4月からコンセッション方式で運営。

下水道事業 ～日本初のコンセッション方式～

浜松市内最大処理区である西遠処理区において、処理場・ポンプ場に運営権を設定し、浜松ウォーターシンフォニー株式会社が20年にわたり、対象施設の維持管理と機械電気設備の改築更新等を実施。20年間で約86億円のコスト縮減効果が見込まれる。

※浜松ウォーターシンフォニー株式会社：
ヴェオリア、JFEエンジ、オリックス、
東急建設、須山建設グループが設立した
特別目的会社



コンセッション方式とは

- ・利用料金の徴収を行う公共施設について、施設の所有権を公共主体が有したまま、施設の運営権を民間事業者を設定する方式
- ・民間事業者による安定的で自由度の高い運営を可能とすることにより、利用者ニーズを反映した質の高いサービスを提供



【29年度 損益収支】

(単位: 億円)

区 分	病院事業	水道事業	下水道事業
総収益	77.8	120.7	220.8
総費用	73.9	110.5	207.0
純利益	4.0	10.1	13.7
未処分利益剰余金	22.0	23.5	7.4

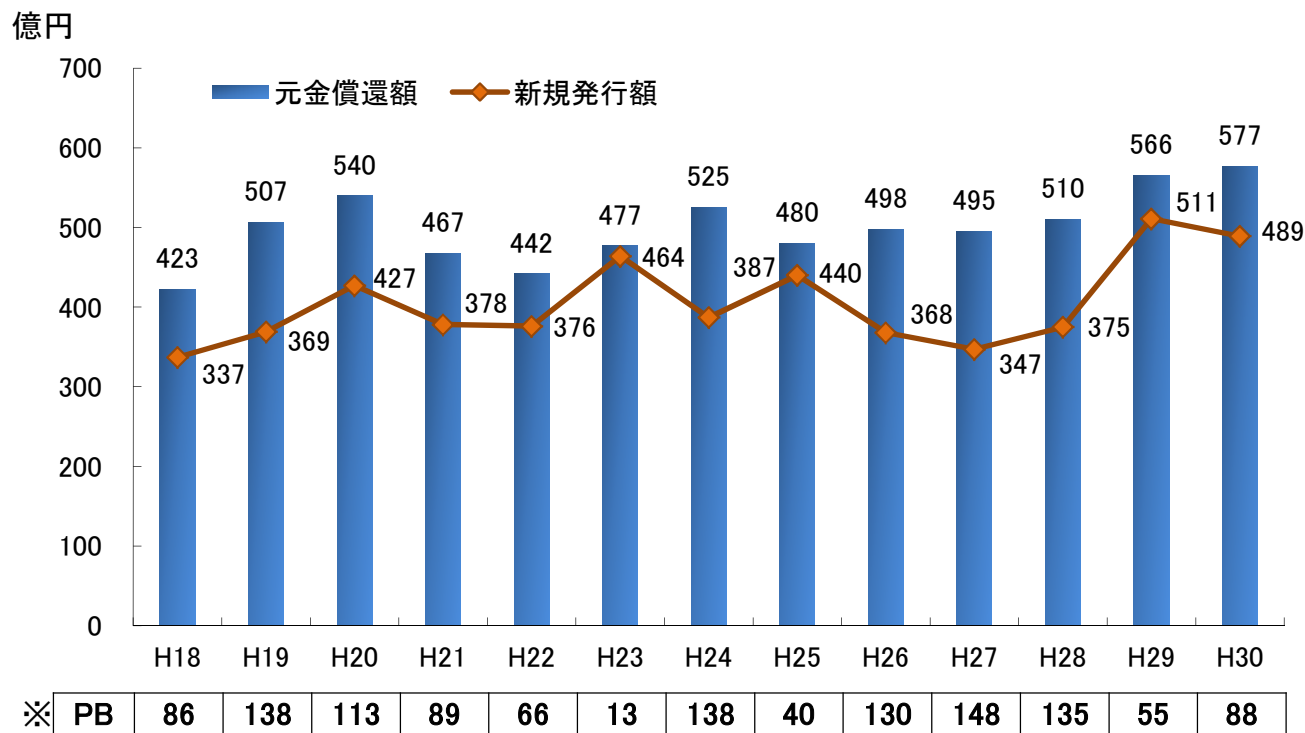
4 市債発行方針

- 市債管理方針
- 減債基金の積立
- 浜松市の格付け
- 平成30年度市場公募債発行概要



元金ベースのプライマリーバランス黒字を維持

総会計のプライマリーバランス



※H29までは実績値、H30は当初予算ベース

※PB（プライマリーバランス）

市債の借入額と償還額（元金と利子）とを比較した基礎的財政収支。本市ではより厳しい条件である元金償還と比較

- 臨時財政対策債を含めた全ての市債の合計で、元金ベースのプライマリーバランス黒字を維持
- 将来の負担軽減、リスクの徹底排除により、中長期にわたる健全財政を維持

<発行ルール>

- ・ 中期財政計画に基づく市債の発行抑制
- ・ 元金償還額未満の発行による市債残高の削減

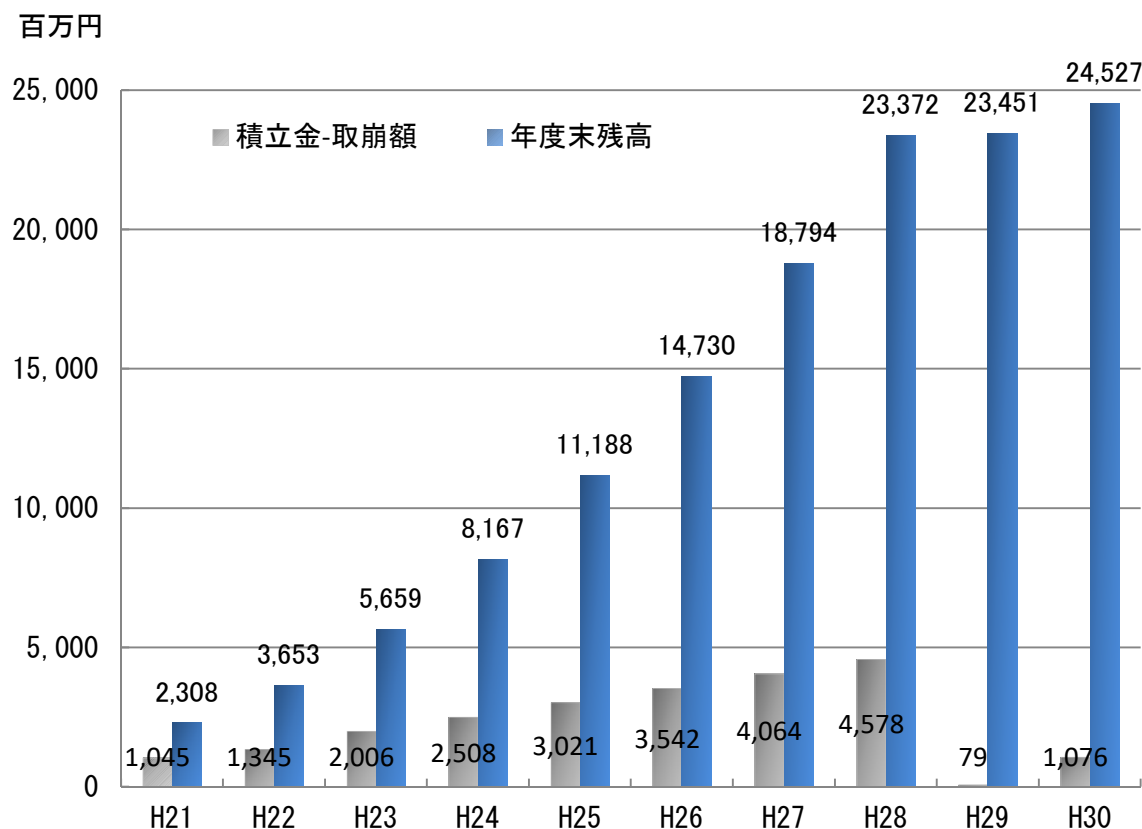
<償還ルール>

- ・ 新発債について償還ペースの維持・短縮

減債基金の積立

毎年発行額の1/20以上を減債基金に積立（据置なし）

減債基金積立の推移



※29年度までは実績、30年度は当初予算ベース

- ・実質公債費比率の基準よりも前倒しの積立（1/20以上）を実施
- ・平成29年度から、市場公募債の満期一括償還時の財源とするため、毎年50億円の取崩しを行う

減債基金 年度別一覧

（単位：百万円）

年度	元金積立	利子積立	取崩額	年度末残高
21	1,040	5	0	2,308
22	1,540	5	△ 200	3,653
23	2,000	6	0	5,659
24	2,500	8	0	8,167
25	3,000	21	0	11,188
26	3,500	42	0	14,730
27	4,000	64	0	18,794
28	4,500	78	0	23,372
29	5,000	79	△ 5,000	23,451
30	6,000	76	△ 5,000	24,527

浜松市の格付け

財政計画の質と財政目標の確実な達成を高く評価

ムーディーズ・ジャパン株式会社

A 1

(エーワン)

[アウトルック：安定的]

B C A : a2

依頼格付取得地方自治体一覧(2016年度スコア)

都市名 ※クレジット・オピニオン公表日	浜松市 H29.10.13	静岡県 H30.1.24	静岡市 H29.10.4	札幌市 H30.5.15	横浜市 H30.3.30	名古屋市 H29.12.15	京都市 H30.6.14	大阪市 H30.3.7	堺市 H29.9.22	福岡市 H30.2.6
発行体格付け	A1	A1	A1	A1	A1	A1	A1	A1	A1	A1
BCA	a2	a2	a2	a2	a3	a3	a3	a3	a2	a2
推定BCAスコア	a3	a2	a3	a3	a3	a3	baa1	a3	a2	a2
推定個別リスクスコア (浜松市との差)	2.77 (-)	2.43 0.34	3.41 (0.64)	2.77 0.00	2.92 (0.15)	3.13 (0.36)	3.71 (0.94)	3.13 (0.36)	2.28 0.49	2.36 0.41

本市の格付けを支えるプラス要因

財政実績と債務状況 (浜松市との差)	0.83 (-)	1.05 (0.22)	0.83 0.00	0.83 0.00	0.98 (0.15)	0.83 0.00	1.13 (0.30)	0.83 0.00	0.90 (0.07)	0.98 (0.15)
行財政運営の状況 (浜松市との差)	0.3 (-)	0.3 0.00	1.5 (1.20)	0.3 0.00	0.3 0.00	1.5 (1.20)	1.5 (1.20)	1.5 (1.20)	0.3 0.00	0.3 0.00

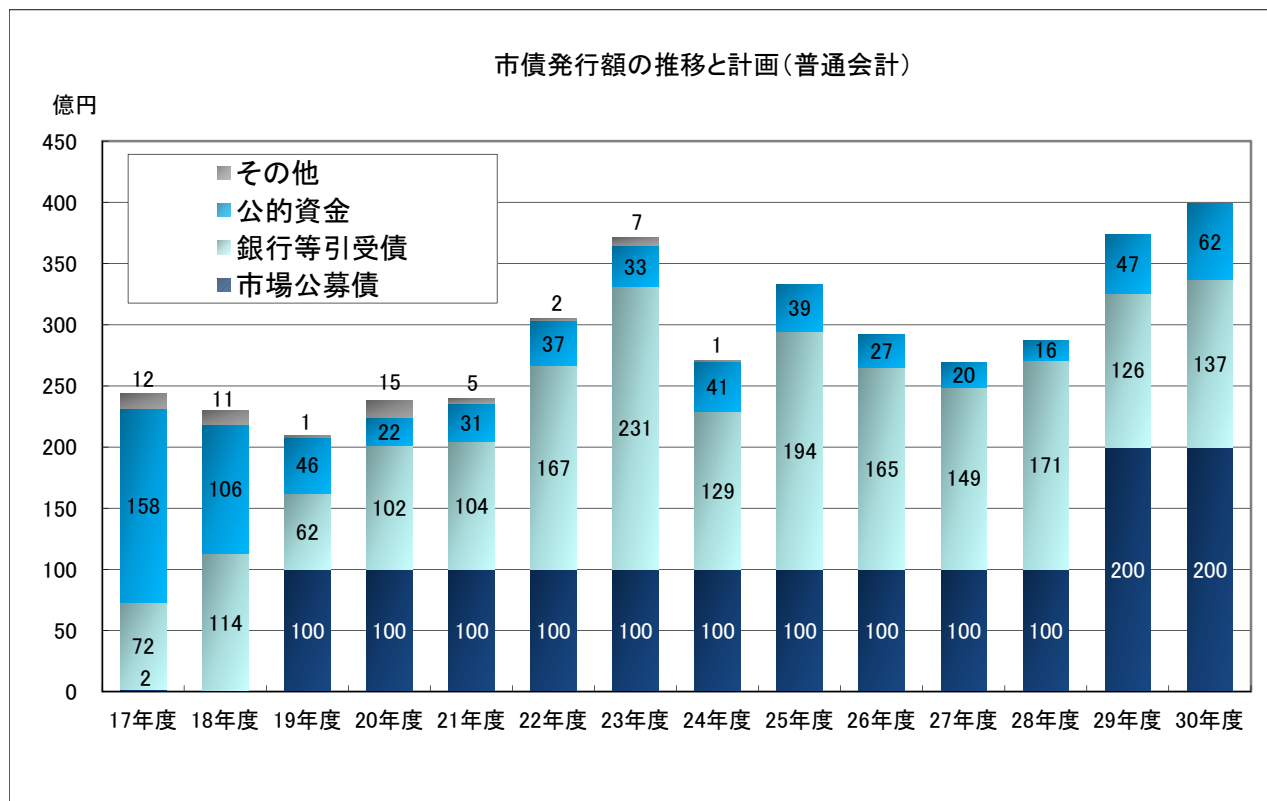
※数値の低いほうが良好な状況を示す。

<格付を支える要因>

- 優れた財政規律に支えられた高い財政パフォーマンス
- 堅実な財政運営の実績に示される強固な行財政運営
(↑浜松市独自評価の要因)
- 中央政府による地方財政監視の強固な制度的枠組み
(↑全自治体共通の要因)

平成30年度市場公募債発行概要

発行額：200億円（10年債）
発行日：平成31年1月下旬予定



※29年度までは実績、30年度は当初予算ベース

【浜松市債引受シンジケート団】

銀行団	(株)静岡銀行
	(株)みずほ銀行
	(株)三井住友銀行
	(株)新生銀行
	(株)あおぞら銀行
	浜松信用金庫
	遠州信用金庫
証券団	みずほ証券(株)
	野村證券(株)
	大和証券(株)
	SMBC日興証券(株)
	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)
	岡三証券(株)
	東海東京証券(株)
	ゴールドマン・サックス証券(株)
	バークレイズ証券(株)
	しんきん証券(株)
	(株)SBI証券



浜松市

HAMAMATSU CITY

浜松市 財務部 財政課

〒430-8652 浜松市中区元城町103-2

TEL 053-457-2274

FAX 050-3730-0119

e-mail zaisek@city.hamamatsu.shizuoka.jp

URL <http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/>